



# “足”を看る

浮腫・糖尿病足病変・爪の変形と白癬・乾皮症

高齢者は、高血圧症・腎臓病・糖尿病などの複数の疾患を併せ持つことが多いため、足病変の発生機序や症状が複雑になっています。それにより、浮腫や循環障害、爪の変形、感染症、皮膚の乾燥といったトラブルが増えています。

足は、血液の循環を促進し、体のバランスを整え、歩行時に地面からの衝撃を和らげる機能を持つ“第2の心臓”と呼ばれています。足のトラブルはQOLを著しく低下させるため、看護職によるケアが重要です。

総特集では足のトラブルの早期発見・ケア・予防のポイントを解説した上で、浮腫・糖尿病足病変・爪の変形と白癬・乾皮症の事例をとおして、ケアの実際や効果を報告します。さらに胼胝・鶏眼、糖尿病による足の変形・歩行障害に対応した靴の選び方を示します。



# “足”を看る

浮腫・糖尿病足病変・爪の変形と白癬・乾皮症

## C O N T E N T S

### 目次

カラーグラフ…………… I

## 第 1 章

### [総論] 足のアセスメントとケアの基本

- 〈解説1〉 高齢者の抱えやすい足の問題とケア／大桑 麻由美…………… 006
- 〈解説2〉 足のアセスメント／愛甲 美穂…………… 011
- 〈解説3〉 足の動きと仕組み／坂井 建雄…………… 017
- 〈解説4〉 足病変の予防的フットケア／西田 壽代…………… 025

## 第 2 章

### [各論 I] 浮腫

- 〈解説〉 浮腫のアセスメントとケアのポイント／渡辺 直子…………… 032
- 〈報告1〉 圧痕性浮腫／宮 麻衣…………… 037
- 〈報告2〉 リンパ浮腫／奥 朋子…………… 040
- 〈報告3〉 サルコペニア／三浦 雅美…………… 043

## 第 3 章

### [各論 II] 糖尿病足病変

- 〈解説〉 糖尿病足病変を有する患者の診かた・考え方  
高橋 寿枝・荒木 厚…………… 048
- 〈報告1〉 糖尿病性腎症／蜜澤 孝徳…………… 054
- 〈報告2〉 糖尿病療養者の黒色壊死を伴う褥瘡／大内 淑子…………… 057

## 第4章

### [各論Ⅲ] 爪の変形と足白癬・爪白癬

〈解説〉 足白癬・爪白癬の特徴／高山 かおる	062
〈報告1〉 爪の変形（爪肥厚）／田畑 美雪	065
〈報告2〉 巻き爪・胼胝／稲田 知子	068
〈報告3〉 足白癬・爪白癬／池永 恵子	071

## 第5章

### [各論Ⅳ] 乾皮症

〈解説1〉 高齢者ケア施設入所者の乾皮症の実態と予防・治療 常深 祐一郎	076
〈解説2〉 乾皮症のアセスメントと予防的スキンケア／熊谷 英子	084
〈報告1〉 多職種連携によるケア／小野 友美	088
〈報告2〉 かゆみの予防的スキンケア／高橋 麻由美	091
〈資料〉 乾燥・かゆみ・炎症を抑える市販品／澤田 康裕	094

## 第6章

### 関連論考

〈解説1〉 靴が引き起こす高齢者の足トラブル／高山 かおる	098
〈解説2〉 足にトラブルを抱える人の靴選び／山口 宏二	100

## コミュニティケア

2020年11月臨時増刊号 Vol.22 No.13 289号

本誌内容の無断複写・転載は著作権法で禁じられています。本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込み、および送信（送信可能化権を含む）・上映・譲渡に関する許諾権は、株式会社日本看護協会出版会が保有しています。  
★本誌掲載のURLやQRコードのリンク先は、予告なしに変更・削除される場合があります。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に一般社団法人出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、email: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

## 〈報告2〉 リンパ浮腫



合同会社ウェルネスアトリウム  
訪問看護ステーションフレンド 所長  
がん看護専門看護師

奥 朋子  
(おくともこ)

乳がんや子宮がんなどの手術でリンパ節を切除した後に、浮腫が出現する場合があります。本稿では、在宅療養者の生活機能や家族の介護力を踏まえて、リンパ浮腫の複合的治療を行った事例を紹介します。

訪問看護の現場では、下肢の浮腫はよく見られる症状です。浮腫の原因はさまざまですが、がんの手術後、治療部位に近い腕や脚などの皮膚の下に、リンパ液が溜まって生じることがあります。

高齢者では、下肢にリンパ浮腫があると、転倒や細菌感染症の蜂窩織炎などの発生リスクが高まります。しかし在宅では、利用者本人が圧迫療法などの治療を行えなかったり、介護力の低さから家族にケアを委ねられない場合があります。そのため、訪問看護ではリンパ浮腫の改善はもちろん、利用者・介護者に負担をかけずに適切なセルフケアを考案・教育しなければなりません。

本稿では、がんの手術後に浮腫が生じたAさんの事例から、リンパ浮腫の複合的治療とケ

※本稿は「コミュニティケア」2020年2月号特集1掲載の記事に一部修正・加筆の上、掲載しています。

1990年千葉大学看護学部を卒業後、1994年静岡県立大学大学院生活健康科学研究科修士課程、2003年千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程を修了。千葉大学医学部附属病院産科婦人科病棟を経て、2017年合同会社ウェルネスアトリウムを設立し、2018年3月に訪問看護ステーションを開業、現在に至る。

Aの実際について紹介します。

### がん手術後の後遺症で 浮腫が出現したAさん

〈事例〉Aさん／80代女性／アルツハイマー型認知症・両下肢のリンパ浮腫・下肢静脈瘤／既往歴：子宮頸がん・腰椎圧迫骨折・左腓骨骨折

Aさんは夫と2人暮らし。自宅併設の店舗で自営業を営んでいた。自宅はエレベーターなしの3階建て。Aさんは約30年前に子宮頸がんの手術による後遺症で両下肢にリンパ浮腫を発症し、また以前から下肢静脈瘤もあり、歩行が困難だった。2年前からもの忘れの症状が見られ、アルツハイマー型認知症と診断された。認知症のため家事はできなかったが、整容・更衣は1人で行うことができ、週3回デイサービスを利用していた。ある日、自宅の階段から転落し、腰椎圧迫骨折・左腓骨骨折のため入院。2カ月後に退院となった際に、転倒・転落のリスクが高いと考えられたため、担当ケアマネジャーのすすめで訪問看護の利用を開始した。



写真1  
軽圧迫の筒状包帯



写真2  
睡眠時用の弾性  
ストッキング

## リンパ浮腫の複合的治療

訪問看護では、自宅で安心して療養生活を送れるよう、リンパ浮腫のケアとともに、蜂窩織炎などの感染症の予防を行いました。

リンパ浮腫に対する複合的治療には、「弾性着衣・多層包帯法による圧迫」「スキンケア」「用手的リンパドレナージ」「圧迫下の運動療法」「セルフケア指導」の5つが挙げられます<sup>1)</sup>。以下にAさんに行った複合的治療を紹介します。

### ●弾性着衣の装着・多層包帯法による圧迫

圧迫療法には、弾性着衣（弾性ストッキング・弾性スリーブ）の装着によるものと、多層包帯法（弾性包帯など）があります。Aさんにどちらを行うかを選択するにあたって、Aさんのセルフケア能力や介護力を検討しました。Aさんは弾性ストッキングを使用し安全に圧迫療法を行えるかどうかわからなかったため、主介護者である夫にサポートをしてもらうことも考えましたが、夫は家事をすべてこなしており、これ以上の負担を強いることはよくないと判断しました。

そこで、Aさんが自分1人で安全に圧迫療法を行える軽圧迫の筒状包帯を、ハイソックスのように下腿部に装着することにしました(写真1)。これは、圧迫感が軽度であり、苦痛を感じずに

過ごせるため、Aさんは毎日、履くことができました。

訪問を開始して半年後には、圧迫骨折が治癒し活動性も高まってきました。それとともに、軽圧迫の筒状包帯では着圧が不足し、それ以上の浮腫の改善が望めなくなりました。そこで、着圧の高いものに変更することにし、これまでと同様にAさんが安全に圧迫療法を行えるものを検討しました。通常、下肢リンパ浮腫の圧迫療法には、弾性着衣はパンティストッキングタイプを装着し、多層包帯法では足背から大腿部まで圧勾配をかけて包帯を巻きます。Aさんは尿失禁することがあったため、パンティストッキングの装着・多層包帯法では、ストッキング・包帯の汚染や陰部の清潔が保たれない可能性がありましたし、包帯を巻くことで、階段の昇降の際の危険も考えられました。

また、Aさんの浮腫は下肢静脈瘤の影響もあり大腿部と下腿部で状態が異なり、大腿部は下腿部に比べて軽症でした。そこで、Aさんには睡眠時用の着圧のハイソックス（弾性ストッキング）を使って下腿部のみを圧迫することにしました。ただし、膝下に食い込みが生じると下腿部の浮腫はかえって悪化する恐れがあったため、弾性ストッキングは中枢側に食い込みが生じにくいものにしました(写真2)。これに関しても、Aさんが苦痛を訴えること



## コミュニティケア

2020年11月臨時増刊号 Vol.22 No.13 289号

発行日 2020年11月15日  
発行所 株式会社日本看護協会出版会  
東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4階（本社）  
Tel.0436-23-3271（コールセンター：ご注文）  
振替 00190-8-168557  
東京都文京区関口2-3-1  
Tel.03-5319-8019（編集）

発行人 井部 俊子  
編集 中島 祥吾  
編集協力 株式会社自由工房  
本文デザイン 今村 陽子  
表紙デザイン 臼井 新太郎  
印刷 図書印刷株式会社  
定価 本体1,600円＋税